

総合人文科学研究センター研究部門
現代社会における「想像力」の総合的研究

2021 年度第 3 回研究会の報告

日時：2021 年 10 月 30 日（土）10 時 30 分から 12 時 10 分
方法：Zoom 使用によるオンライン形式。

このたびの「想像力」研究 2021 年度第 3 回研究会は公開で開催し、部門構成員を含む 19 名の参加者を得た。今回は、ソンヘジョン先生（招聘研究員）が「多和田葉子をめぐ
る旅 ～文学研究から記録映画の製作に至るまで」という題目の下、話題提供を行った。
また、松永美穂先生（本学教授）がコーディネータを担当した。以下に、ソン先生のご執
筆による当日のまとめを掲げる。

2021 年度第 3 回想像力研究会では、多和田葉子（ドイツ在住、二言語の作家・詩人）
をテーマに録音と画像、映像資料を交えた次の内容発表、その後、質疑応答が行われた。

- 1) 「文学研究者」としての多和田研究の契機と始まり。
- 2) 研究のあり方が変化する過程（翻訳研究→エクソフォニー作家研究→朗読研究）。
- 3) 多和田の朗読を記録するために行った世界 10 カ国を回る声のフィールドワーク。
- 4) 「映画監督」として記録映画を製作する現在。

土曜日の朝にも関わらず約 20 名ほどが参加され、上記の内容に関する様々なご意見
やご助言などが繰り広げられた。特に今回の想像力研究会では、従来の研究発表ではなか
なか機会のない、研究する「わたし」にまつわる話をする事ができ、発表を準備段階
からたくさんひらめきがあった。研究という枠も超えて、研究者が実験台になって、
どのような実験を重ねてきたかを語る事。文学研究から始まり映画製作に至る過程を
通じて、多和田研究の新たなあり方を共有できたように思う。研究会の最後は、自分自
身も違う観点から自分の研究を眺めることができ、更なる実験をしているような感覚か
ら、小さなひらめきたちが大きな光に変わっていくところが見えて気がした。この場を
借りてこのような機会をくださった皆様に感謝を申し上げたい。（ソン先生記）

次回の研究会は、12 月 19 日（日）に、オンライン形式で開催する予定である。（報告取
りまとめ：御子柴）